

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和6年 2月 7日発行

御明神小学校 学校支援&地域交流

茶道体験を通して 地域の方と児童が交流

1月31日(水)と2月1日(木)、御明神小学校で3~6年を対象に茶道教室が行われました。5月の茶道体験でもご指導いただいた山本ユキ子先生、地域の岩持斗季子さん、熊谷幸子さんに加え、2月1日の5・6年生の茶道体験には三上友子さん、北島恵美子さんが参加しました。茶碗を洗ったり、道具の準備をしたり、支援ボランティアとして協力していただきました。初心者の三上さんも、茶道経験のある北島さんも、学校からのお誘いに「楽しみです!」と快く参加していました。

岩持斗季子さんから「茶道は抹茶、器、茶花、茶菓子、掛け軸、お香、所作など様々な日本文化の集大成」と教えていただき、児童は自分でお茶をたて、味わいました。

児童の体験後、ボランティアの方たちと教職員で茶道の奥深さを感じながら山本先生のたてたお茶をいただきました。



児童を見守りながら、一緒に作法を学ぶ三上さん(右)着物を着る機会が出来て嬉しさと、和服で参加の北島さん(左)



6年生にとっては最後の茶道教室。4年間の経験が財産です

快挙!

雫石中学校 家庭部 ~地域と展開する農産活動や福祉活動~

<第10回東北農政局「ディスカバー農村漁村(むら)の宝」奨励賞>受賞

雫石中学校家庭部はH29より、野菜栽培(六次産業化実習)と地域・福祉を掛け合わせた活動を展開し、<東北農政局「ディスカバー農村漁村(むら)の宝」奨励賞>を受賞しました。農林課の指導を仰ぎ、学校前の畑を耕作し育てた野菜を軽トラ市や産業まつりなどで販売し、6次産業化活動を展開しています。また、蕎麦打ちやぬか床づくりなど、地域の方と交流しながら伝統食を学んでいます。高齢者デイサービス施設での昼食調理交流、子ども食堂への材料提供など、学びや成果を地域に還元する農産活動を行っています。

1月26日(金)に中学校で行われた表彰式では、東北農政局から賞状を授与されました。1年生の大久保咲希さんは「栽培から販売まで自分たちで行い、育てた野菜が売れた時は達成感を感じます。この賞をいただいたことを励みにまた頑張っていきたいです」と意気込みを述べました。校門近くの畑を提供してくれている横手久子さん(84)もお招きし、部員たちは頂いた賞状をたずさえ、感謝の気持ちを伝えました。横手さんは「ひ孫と同じ年の子たちと一緒に畑をやっていると若返る」と健康の秘訣にもなっていると話します。



横手さんと記念撮影する家庭部生徒

今年もまごころこめた年賀状を届けました

今年も雫石中学校は全校で町内の75歳以上の一人暮らし世帯に「まごころおはがき」年賀状を書きました。全校での取り組みは今年で4年目となり、生徒の年賀状も力作ぞろいです。学校内で独自の賞を設け、大賞、優秀賞、優良賞を始め、尾藤賞、川崎賞、櫻井賞、松尾芭賞、HOTで賞、及川賞など各賞が選出されました。



大賞

3年 堀内 しずくさん

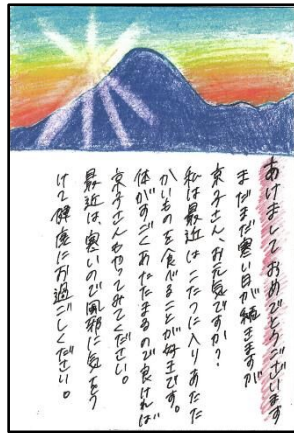


中学校に、たくさんのお返事が届きました ※返事は任意です



優秀賞

1年 藤原 琴音さん



優秀賞

2年 千葉 美優さん



優秀賞

3年 安本 芽生さん

雫石中学校 令和6年度2学年 総合的な学習に向けて

コミュニティ・スクール熟議を開催

～わたしたちの町の災害と安全～

12月27日(水)雫石中学校では来年度2年生の総合的な学習に向けて熟議(自由に意見を出し合う会)を行いました。

「いわての復興教育」に基づき、来年度2学年は沿岸地域・雫石町の災害や防災、支え合いについて学ぼうと計画しています。雫石町の災害と安全について、防災課や社会福祉協議会、リアス観光など関係する方々が集まり、雫中生にやらせたいこと、経験させたいことを語り合いました。

今回出た意見やアイデアを基に、中学校は来年度の学習計画を立てていきます。

「熟議」

学校運営協議会とは別に多くの当事者が集まる機会を設定し、学校の本音、地域の思いを共有しながら「熟慮」と「討議」をすること。自由に意見を出し合い「じゃあ、どうする？」をみんなで考えていくことができる。

「いわての復興教育」

郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値(いきる・かかわる・そなえる)を育てること。

